

2025年度 第1回応募

学校名： 広島市立吉島小学校

対象学年： 4年

① 学習指導案 学校指定様式がある場合は別資料として提出してください。

プログラム	No. 8 「わたしたちのまちに言葉の贈りもの」
単元名 (全11時間)	魅力あふれる吉島発見隊
学習のねらい	1 自分たちの地域を調べていく中で、町の景観の特徴を知り、まちを愛する人々の思いから、地域愛を育み、それを周囲へ発信しようとする態度を育てる。 2 写真や絵、文章で表現する力を養う。
学習内容	1 作品作りの計画を立てる。 2 フィールドワーク（テーマに沿った写真撮影）実施。 3 使用する写真の選定と、添える言葉の作成 4 他学年や保護者への紹介を行う。 5 まとめ
参考資料 準備品 実施場所等	地域の人が作成したまちの冊子 タブレット 地図 ワークシート たんけんバッグ 吉島のまち

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1	1 作品の概要を知る。	・教員が予め作成した作品を見て、自分達も作りたいという意欲をもたせる。	
	2 自分たちも吉島を廻ることで、吉島の魅力を再発見する取組を知る。	・吉島の魅力をみつけて展覧会を行うことを伝える。	
1	3 フィールドワークをする上での留意点・注意点について知る	児童が作成しやすいワークシート等の工夫を行う。	
2	4 フィールドワークをする中で、魅力的な場所を写真におさめる。	みんなに知ってもらいたい場所を予め考えたり、ある程度調べてみたりすることで、どんな写真をとってくればいいのか見通しをもたせておく。	


1	5	とってきた写真を使って、どの写真をしようするか、どんな添える言葉にするか考える。	写真を使った際に、より魅力的になるような構図や、添える言葉について考えさせる。	課題設定能力 課題追及能力
3	6	作品を作成する	絵具・クレヨン・マーカー・色鉛筆等、使える画材を確認する。	表現力
1	7	鑑賞会を行う	友達の作品で、すてきだなと感じた部分を発表し、次時の紹介への見通しをもたせる。	
1	8	下学年を教室に招待し、自分が見つけた町の魅力を発表する。	・紹介の方法を自分たちで企画させる。自分たちの地域に対する思いをどうやったら伝わるか考えさせる。	主体的な活動
1	9	まとめ	・地域とのつながりを考えたうえで、地域の人々にも伝えられるようにしたい。	

<留意点>

- ・自分が撮りたい写真を存分に撮れるように、保護者の協力を得る。

② 学習実施状況

応募申請時に、景観まちづくり学習を開始している場合などはご記入ください。

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
1	教室	作品・展覧会の概要を知る。 自分の作品のイメージを持ち、どこに撮影しに行くのか計画を立てる。		慣れ親しんだ吉島の地の写真を見て、「あ〜知ってる！」「ここ知ってる〜！」等、愛着のある場所に興味がある様子だった。「吉島の町の魅力を伝える」という課題に対して、とても意欲は高い様子である。相手意識ももってどこを写真に収めようか本気で考えていた。
2・3	校外	フィールドワークをし、魅力的だと思う場所を写真に収める。		

(2) 実施にあたり苦労した点

- ① 写真を選ぶ際、選びきれない児童もいた。
- ② 相手意識をもって活動したが、「相手に伝わる文章にする」という視点で苦労をしていた。

(3) 児童の反応

- ① 「吉島の町がもっと好きになった。」「もっとやりたい。」「他にも素敵な場所が無いか探してみたい」等、より吉島の町を愛する児童が増えたとともに、継続して吉島の町の良さを見つけていきたいという意欲が高まった。
- ② 相手意識をもって作成することの難しさや楽しさを味わえた。「あんまり反応が無かったな。この言葉が難しかったのかな。」「とても質問が多かった。自分の発表だけでは分かりにくい部分も多かったのかな。」と振り返っており、課題がとても明確になった。この課題をもとに、もう一度やり直したいという発言もあった。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

改めて、吉島の町の魅力を再認識できた。また、総合的な学習の時間で取り扱っている「中工場」を誇りに思っている児童の様子もたくさん見られて、地域の財として捉えているんだなと感じた。吉島の町の魅力を再認識する中で、他の教材とも絡めて授業ができるとよりいいなと感じた。

(5) 今後の課題と取り組み [児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等]
課題

- ・ 周囲へ発信することはいい事だが、1回やって終わりなのがもったいなかった。2回目、3回目と取り組む中で、ブラッシュアップされていく姿も見たい。
- ・ 対象学年に応じた言葉遣いが不十分だった。対象学年をより意識した指導が必要である。
- ・ 写真限定で行ったが、動画もあってもよいと思う。表現の幅を利かせることもあってもいいのかなと感じる。